

第 117 回日本森林学会大会 テーマ別セッション

『樹木根の成長と機能』開催のお知らせ

平野恭弘 (森林総合研究所関西支所)

野口享太郎 (森林総合研究所立地環境研究領域)

来たる 2006 年 4 月に第 117 回日本森林学会大会が東京農業大学世田谷キャンパスで開催されます。今回の大会では、新しい試みとしてテーマ別セッション『樹木根の成長と機能』を以下の通り企画しています。樹木根に興味関心のある皆様多数のご参加をお待ちしています。

テーマ別セッション T4『樹木根の成長と機能』

日時 2006 年 4 月 2 日 (日) 15:00-17:30

4 月 3 日 (月) 9:00-17:15

会場 東京農業大学世田谷キャンパス 13 号館 217 (C 会場)

参加費 6,000 円 (日本森林学会大会参加費)

詳細なプログラム 日本森林学会ホームページ <http://www.forestry.jp/>
をご覧ください。

日本森林学会では毎年多くの樹木根に関する研究発表が行われてきましたが、既存の枠組み分野である造林、生態、立地、防災など異なる会場に分散する傾向にありました。本テーマ別セッションでは、樹木根を扱う研究発表を一堂に集め、わが国の樹木根に関する知見の共有、研究手法の改善、統一化等の議論を行いたいと考えています。セッションでは、一日目に樹木の主に太い根を対象とした根系構造、分布様式など 7 件、二日目午前中には森林における細根動態とその炭素循環における役割など 10 件、午後には樹木細根の生理および成長機能に関連した 9 件の研究発表が行われる予定です。さらに二日目午後には 30 分のミニシンポジウムとして、菱拓雄さん (京大院農) が樹木細根の構造および機能的異質性について、石田厚さん (森林総研) が樹木根の水利用におけるアクアポリンの役割について、それぞれ最新の知見を交え分かりやすく講演していただける予定です。詳細については筆者までお問い合わせください。